

き たん 奇譚の街 須美ちゃんは名探偵!?

浅見光彦シリーズ番外

内田康夫財団事務局・著

文庫判: 312ページ

出版社: 光文社

発売日: 2024年5月14日



〈『奇譚の街 須美ちゃんは名探偵!?'とは〉

浅見家のお手伝い・須美ちゃんとしてお馴染みの吉田須美子が活躍する浅見光彦シリーズ番外『須美ちゃんは名探偵!?'シリーズ第4弾。

須美子が日常の中に潜む小さな謎や疑問を、名探偵・浅見光彦に負けない名推理(?)で解き明かす、ほのぼののミステリーです。

今回は東京都北区を舞台に、須美子が北区の端から端まであちこち駆け回り、不思議な謎に挑戦します。

巻末には、短編「軽井沢のセンセ失踪事件」を特別収録。

〈あらすじ〉

商店街で「牛蒡モチ 下瀬三平」と書かれた紙を拾った須美子は、落とし主を見失ってしまった。その後、歳の離れた友人・小松原育代が経営する生花店、花春を訪れると、「空飛ぶハサミ」という都市伝説を聞く。巨大なハサミが空を飛び、プラスチックの鎖、飼い犬を繋いであった鎖、果ては自転車のチェーンまで切ったという。話を聞き終わった須美子は、話に出てきたヒントから、その真相を突き止める。

翌日、育代は小学生の健太が書いていた文字「友汐」という文字の謎に頭を悩ませていた。須美子はその謎も解き、育代と一緒に「友汐」が示す“ある場所”を訪れる。その帰り道、「牛蒡モチ 下瀬三平」の意味に気づいた須美子は、偶然にも落とし主の女性に再会。育代が須美子のことを「名探偵」だと紹介したことから、彼女の抱えていた悩み事の相談に乗ることになった……。

名探偵・浅見光彦の住む街、東京都北区を舞台に、須美ちゃんが難問に知恵を絞る長編小説。

〈登場人物〉

吉田須美子 (よしだ すみこ) …… 浅見家のお手伝い。新潟出身。遠縁にあたる先代ばあやの推薦で、高校を卒業した春から東京・北区にある浅見家に住み込みで働く。感動屋で涙もろい。

浅見光彦 (あさみ みつひこ) …… 言わずと知れた名探偵。本業のルポライターの傍ら様々な難事件を解き明かすが、浅見家においては、いつまでも居候扱いのうだつの上がない次男坊。

小松原育代 (こまつばら いくよ) …… 北区の商店街で生花店「花春」を営む。須美子とは気の置けない間柄で、須美子のことを名探偵だと思い込んでいる。